

第19回 第2分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所 第1分庁舎 7階 研修室
日 時	平成18年4月8日 午前10時00分～午前12時00分	記録者	【学生補助員】 岸本
		責任者	事務局(青柳)
会議出席者： 37名 傍聴者 2名 (区民委員： 31名 学識委員： 2名 事務局： 4名)			
配付資料 1 第19回 新宿区民会議第2分科会 次第 2 第18回 第2分科会会議録 3 スケジュール(案) 4 小項目(案) 5 次回開催通知 進行内容 1 開会 2 班別検討 3 その他 4 閉会 会議内容 【発言者】 : 区民委員 : 学識委員 : 事務局 1 開会 : それでは分科会を始めます。 2 その他 最初に最終提言のイメージに関して、先日行われた編集部会について岩崎先生からご説明していただきます。 : 編集部会についてですが、これからの全体の動きと合わせて確認していきたいと思 います。 今まで区民会議では、第一分科会から第六分科会まで分かれて検討してきました。 これから区民会議として提言書を出すわけですが、その提言書は基本構想審議会に提 出され、答申が作られます。 この流れに付随していくつか組織が出来ています。まず、拡大世話人会というのは、			

各分科会の区民委員と学識委員から構成されています。これは、提言書をどうまとめていくのかということを検討していく組織です。

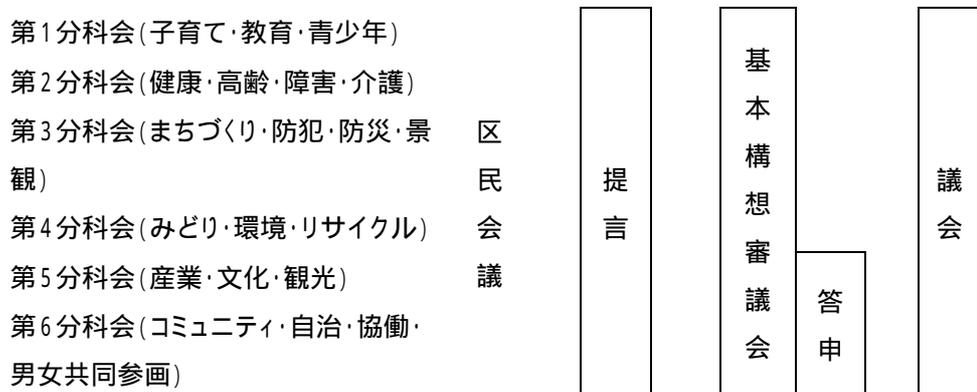
決まったこととしては、1つは、分科会の提言を再編し、項目ごとに整理しなおすことになりました。具体的には、中間報告書のときには第1、2、3・・・分科会と分かれていました。その内容は、第一分科会は子育て、教育、青少年。第二分科会は健康、高齢、障害、介護などがあります。しかし、第一分科会の子育てに関しても、地域の中での子育て、第二分科会の高齢も、地域の中の高齢、そのベースになるものはまちづくり、となっていく。提言書では、このような横のつながりを持たせるようにしていくことになりました。

2つめは、提言書は区民委員が書く、ということです。中間報告書をベースに不足部分を補って書くことになります。

その下に編集部会というものがあります。ここでは、細かく提言書の作り方を検討していきます。分科会ごとの検討項目を持ち寄り全体で整理していきます。ここでお願いですが、提言書として載せるのは項目として何個あるのか、後ほどご検討していただきたいと思います。

また、ワーキンググループも作られます。ここでは、提言の出し方を検討します。発表形式なのか、冊子を提出するのか、具体的な提言の仕方を考えます。このような流れとなっています。

<全体の動き>



拡大世話人会

分科会の提言を再編する
(分科会ごとに起草するのではなく、項目ごとにまとめる)
提言は区民が書く

ワーキンググループ

最終発表会をするか
提言の出し方を考える

編集部会

分科会の検討項目を持ち寄り、全体を整理する

：それぞれの分科会で提言そのものは書くこととなりますが、提言書の章立て等については、編集部会で検討します。来週の金曜日の編集部会で各分科会が具体的に書く項目、小項目を出すことになっています。そのたたき台を本日配布しました。これは、中間報告書の解決、方向性を要約したものです。班別検討の時に見ていただいて、最後にご意見をいただきたいと思います。

：今後の日程についてですが、ご説明します。

5月13日に第2分科会としての最終提言の内容を出していただきます。したがって、内容の検討につきましては、今日を入れて2回です。

5月10日の世話人会までに各分科会のたたき台を出し、13日に提示します。

5月24日の分科会でまとめを行い、文言の修正や表現などを確定していきます。

6月25日に区長の方に最終提言を行います。提言の仕方は発表という形式になるかは決まっていますが、6月の2回は発表に向けての調整を予定しています。

1つご連絡があります。第三分科会から、関連するところがあれば検討したいというご提案がありました。特にユニバーサルデザインについては関連する部分があるのではと思います。第三分科会の会議は4月11日(火)18時30分から、第一分庁舎7階研修室で行われます。5、6名程度参加していただきたいです。柴田さん、石井さん、藤乗さん、佐藤さん、田中さん、小峰さん、お願いします。

もう1つ、最終提言のためのワーキンググループには、室伏さん、木全さん、本庄さんをお願いしたいと思います。残りの時間は班別検討を行ってください。

3 班別検討

4 閉会

：次回は第二分庁舎で行います。それでは分科会を終わりにします。

< 次回日程 >

4月26日(水) 午後2時～

第2分庁舎1階 1- 会議室